

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成29年11月10日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして補足説明を申し上げます。

まず、1ページ目、2.、11月10日金曜日、本日でございますが、(1)の審査会合についてでございます。こちらは現在開催中というものでございます。議題は3点ございます。

まず、1点目、日本原電株式会社・東海第二原子力発電所につきまして、こちらにつきましましては、地震・津波に関する議論の取りまとめを行うという予定となっております。

続きまして、電源開発株式会社・大間原子力発電所につきまして、敷地周辺の地質構造について説明を聞き、議論をするという予定になっております。

続きまして、3点目といたしまして、北海道電力株式会社・泊原子力発電所につきまして、敷地内破碎帯の活動性評価につき、コメントへの回答を聞くという予定になっております。

続きまして、2ページ目上段でございます。11月14日火曜日、(4)の審査会合についてでございます。こちらは議題が2点ございます。

まず、1点目といたしまして、日本原電株式会社・東海第二原子力発電所につきまして、経理的基礎について説明を聞く予定となっております。こちらは短時間で終了する予定でございます。

その後、東北電力・女川原子力発電所の審査に入りまして、内容としては、内部火災対策につき説明を伺い、議論をするという予定でございます。

続きまして、(6)第4回規制に係る人的組織的要因に関する検討チームの開催が予定されております。こちらの議題でございますが、前回まで安全文化のガイドについて議論を行ってまいりましたが、今回、第4回から原因分析に係るガイドについての議論に入る予定でございます。原因分析に係るガイドについての策定の方針などにつき、議論を行う予定となっております。

続きまして、下段、3.委員の現地調査の予定が2件入っております。

まず、(1)東北電力・女川原子力発電所に係る現地調査が11月16日に予定をされております。山中委員ほか調査に行く予定でございます。こちらは新規制基準適合性審査

の一環といたしまして、重大事故対処設備や地震対策設備などにつきまして、状況を確認するという予定でございます。

続きまして、3ページ目、(2) 東北電力・東通原子力発電所の現地調査が11月17日に予定をされております。石渡委員ほか調査に行く予定となっております。こちらは同じく新規制基準適合性審査の観点から、敷地内の地質構造等につきまして状況確認を行うという予定となっております。

私からは以上でございます。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから御質問の方をお願いいたします。

それでは、御質問のある方は手を挙げてください。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上とさせていただきます。お疲れさまでした。

—了—